

韓国における第三者決済サービスについて

— e-Commerce におけるペイメントゲートウェイを中心に —

株式会社クララオンライン
コンサルティングチーム

<要約と結論>

ネットショッピングをはじめとする韓国の e-Commerce 市場の規模は、2013 年に約 54 兆 7,500 億ウォン(約 5.2 兆円)となり、前年比 14.9%増の成長をみせた。PC を利用したインターネットショッピングの規模が 41 兆 1,600 億ウォン(約 3.9 兆円)で、市場全体の 75.1%を占めており、モバイルショッピングも前年実績の 2.3 倍となる 3 兆 9,700 億ウォン(約 3,760 億円)を記録するなど今後も規模拡大が見込まれている。

このようなネットショッピング市場の成長には、インターネットを通じた非対面取引を可能にする電子決済の役割が大きい。消費者と売り手との間で銀行やクレジットカード会社との取引をつなぐ、いわゆる「第三者決済機関」の登場によってネットショップの立ち上げがより簡便になり、従来の現金やクレジットカードでの支払いに加えて、少額決済(通信課金)や商品券決済など多様な決済手段を提供できるようになった。

2012 年末時点で韓国の第三者決済機関は 128 社あるが、これらの会社の主なサービスは、(i)プリペイド型電子決済手段の発行及び管理、(ii)ペイメントゲートウェイ(PG)、(iii)エスクロー(Escrow)、(iv)電子請求書決済(EBPP)で、今日ではほとんどの PG 会社が (i)(iii)(iv)の業務を兼ねており、クレジットカード PG、口座振替 PG、銀行振込 PG、少額決済(通信課金)PG、商品券 PG などのサービスを提供している。

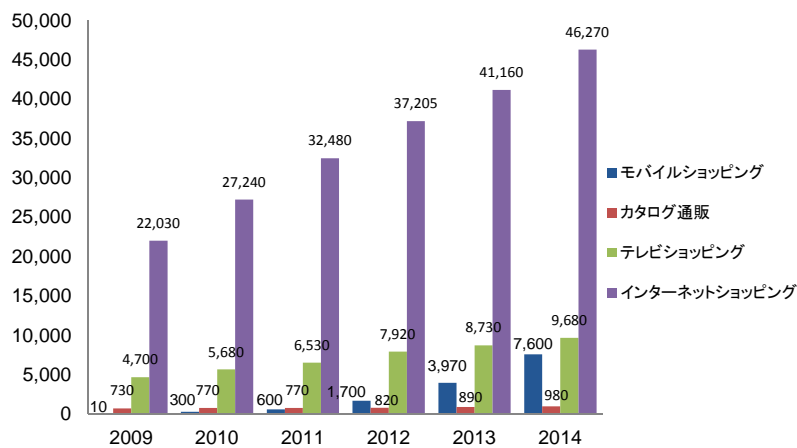
PG 会社の利用料金は、おおむね「加入費」、「年間定額料金」、「売上に対する手数料」からなるが、会社によってはサービスごとの手数料(率)等が異なるため、それぞれの決済手段が実際どのような消費者層(男女・年代・地域別)によく利用されているかを分析し、自社サービスにマッチする PG 会社とサービスを選択することが重要であろう。

スマートフォンやタブレットなどのモバイルデバイスの拡大により、新たな決済形態としてモバイル決済サービスが登場した。PC によるインターネット上の取引と同様に、個人情報保護やセキュリティ強化の観点からユーザ側で煩雑な認証プロセスが必要となっているが、より簡便な決済サービスを求めるユーザのニーズに合わせて今後もさらに進化を遂げるものと思われる。

1. 韓国の e-Commerce 市場の規模及び展望

2013 年の韓国の e-Commerce 市場の規模は、約 54 兆 7,500 億ウォン(約 5.2 兆円)で、前年比 14.9%の成長をみせた。媒体別で見ると、PC からのネットショッピングが市場全体の 75.1%を占めており、前年比 10.6%増の 41 兆 1,600 億ウォン(約 3.9 兆円)、モバイルからのネットショッピングは前年の 2.3 倍となる 3 兆 9,700 億ウォン(約 3,760 億円)を記録した。2014 年も引き続き成長が続き、市場全体の規模は 64 兆 530 億ウォン(約 6.1 兆円)に達する見込みである。

韓国 e-Commerce 市場の規模及び展望 (単位: 十億ウォン)



Source: 韓国オンラインショッピング協会 (2011,2013)

e-Commerce 市場が順調な成長を続ける背後には、インターネットを通じた非対面取引を可能にした電子決済サービスの役割が大きい。金融機関以外で電子決済サービスを提供する第三者決済機関、とりわけペイメントゲートウェイ(PG)会社がオンライン決済に関するトータルソリューションを提供するようになり、煩雑な契約や高額なセキュリティシステムを揃えなくてもネットショップを簡単に始められる環境が整ったためだ。

2. 韓国における第三者決済機関

(1) 第三者決済機関の現況について

2012 年末時点で第三者決済機関は 128 社あり、主に(i)プリペイド型電子決済手段の発行及び管理、(ii)ペイメントゲートウェイ(PG)、(iii)エスクロー、(iv)電子請求書決済のサービスを提供している。

【第三者決済機関のサービス提供状況】 ※1 社が複数のサービスを提供している場合、個々にカウント

区 分	2010年	2011年(A)	2012年(B)	増減(B-A)
(i)プリペイド型電子決済手段発行業	16	18	21	3
デビットカード発行業 ※1)	—	—	3	3
(ii) ペイメントゲートウェイ(PG) ※2)	79	82	83	1
(iii)エスクロー	13	16	18	2
(iv)電子請求書決済	4	4	3	-1
合 計	112	120	128	8

注: ※1)2012年12月の新規登録分(2012年の実績なし)

Source: 韓国銀行(2013.4.19)

※2)少額決済(通信課金)サービス提供会社を含む

(2)各サービスの内容と主要事業者

詳しいサービス内容と主要な事業者は以下の通りとなっている。

区 分	内 容	主要事業者
プリペイド型電子決済手段の発行管理	交通カードや商品券を代表とするプリペイド型の決済手段。デジタルコンテンツの購入時によく利用される。	Mybi、Korea Smart Card(T-money)、Hi Pass Plus Card
ペイメントゲートウェイ(PG)	ネットショッピングなどで購入者と店舗の間に立ち、クレジットカード等による代金の支払い、決済情報の転送、精算を代行する。一部事業者は商品券による支払いも受け付けている。	AEGIS ENTERPRISE LG U+、eBay Korea
エスクロー (Escrow)	ネットショッピングなどで、購入者と店舗の間に立ち、取引の目的を担保するサービス。購入者はエスクローサービスを提供する第三者決済機関に代金を支払い、第三者決済機関は購入者に商品が届いたことを確認した後、店舗に代金を受け渡す。購入者にとっては商品が届かなかつたり不良品だった場合の返金が保証され、店舗にとっては代金が確実に回収できるという利点がある。	SK Planet、 eBay Korea、 NBP
電子請求書決済 (EBPP)	従来紙の請求書に代わりインターネットを利用して請求書を発行し、決済を行うサービス。	AEGIS ENTERPRISE DONGSEO ITS DUZON BIZON
少額決済(通信課金) (Phone Bill)	通信キャリアが提供する収納サービスで、ネットショッピングの利用代金などを携帯電話や固定電話料金から、または合算して請求・精算する。	KT、LG U+ SK Telecom

Source: 韓国銀行(2013.4.19)



3. ペイメントゲートウェイ(PG)について

(1) PG のサービス類型

ネットショッピングに欠かせない PG は、決済手段によってクレジットカード PG、口座振替 PG、仮想口座 PG、少額決済(通信課金)PG、商品券 PG の 5 種類に大別される。PG を利用する加盟店は、PG 会社に対して初期登録費(10~30 万ウォン)、年間手数料(10~40 万ウォン)及び決済 1 件あたりの手数料を支払う。

(2)各サービス類型の特徴

i) クレジットカード PG

クレジットカード PG は、ネットショッピングモールに出店する各店舗(加盟店)を通じて決済情報の送受信及び決済代行サービスを提供するもので、カード会社が PG 会社に決済代金を支払うタイミングは通常カード利用日(D)+2~6 日、加盟店あての支払いタイミングは通常 D+3~10 日。加盟店の負担する手数料は通常 3.3~4.0%で、カード会社に対する手数料(2.9~3.3%)を除くと、加盟店がクレジット PG 会社に支払う純粋な手数料は 0.4~1.0%の水準となる。

ii) 口座振替 PG

金融機関と連携して、購入者と加盟店などとの資金取引を行うサービスを提供するもので、加盟店あての支払いタイミングはおおむね D+1~8 日。加盟店の負担する手数料は通常 1.8~2.5%であるが、「LG U+」及び「INICIS」以外の PG 会社では、口座振替の際に発生する手数料などを別途金融機関に支払わなければならない。また 2012 年 6 月現在、金融機関と直接連携して口座振替 PG サービスを提供する会社には「金融決済院」、「LG U+」、「INICIS」の 3 社がある。それ以外の PG 会社は、上記の 3 社を通じてサービスを提供するか、一部金融機関に限って口座振替 PG サービスを提供している。

iii) 仮想口座 PG

ネットショッピングの支払い手段として「無通帳入金(仮想口座)」を選択した場合の決済方法で、購入者は通知された仮想口座番号あてに代金を入金する。加盟店あての支払いタイミングは口座振替 PG と同様に D+1~8 日。加盟店の負担する手数料は、決済金額とは無関係に決済 1 件ごとに課金される。通常 1 件あたりの手数料は 300~500 ウォンである(仮想口座の使用に伴う手数料は PG 会社が負担)。加盟店側にとって仮想口



座 PG は口座振替 PG と似ているが、購入者ごとの入金確認が容易で、誤入金防止機能も付いており、精算業務が効率的に行えるというメリットがある。

iv) 少額決済(通信課金)PG

ゲームや音楽といったデジタルコンテンツの購入によく用いられる方式で、比較的少額の購入代金について、有・無線通信(スマートフォンを含む携帯電話、固定電話など)の利用料金と併せて請求が届く。携帯電話を利用する場合、携帯電話番号及び住民登録番号(韓国で全ての国民に与えられる識別番号)を画面に入力した後、当該携帯電話に届いた認証番号を入力して決済する SNS 方式と、PG 会社が指定する ARS 番号に電話をかけ、流れるアナウンスに従って携帯電話番号を入力して決済する ARS 方式がある。また固定電話を利用する場合も、PG 会社が指定する ARS 番号に電話をかけて決済する方式と、PG 会社が提供する ARS から掛かってくる電話を利用して決済する方式がある。

加盟店が負担する手数料は、他の PG と比べ高い 5~13%で、このうち通信キャリアの取り分 5~7%を除いた額が PG 会社に配分される。決済代金が加盟店に支払われるまで 2~3 カ月かかるため、積極的に利用する加盟店は少なくなっている。しかし通信キャリアが滞納管理を引き受けるため、代金の未回収に対するリスクは低い。

v) 商品券 PG

購入者が代金を商品券で支払う場合に購入者と加盟店とを仲介するサービスで、利用できるのは PG 会社と商品券発行会社の間で利用契約が結ばれている商品券に限られる。ネットショッピングよりデジタルコンテンツの購入によく利用され、決済手続きに個人情報が必要ないことからオンラインゲームなどを楽しむ 10 代が主に利用している。加盟店に代金が支払われるまで約 1 カ月かかる上、加盟店が負担する手数料は 10~18%で、これには商品券発行会社の手数料も含まれている。決済 1 件ごとに精算するのではなく、一定期間ごとに一括精算する方式をとる。

(3)主な PG 会社のサービス状況

PG 会社を利用するには、一般的に「加入費(初期登録費)」、「年間定額料金(システム利用料)」、「売上に対する手数料」がかかる。さらにクレジットカードの場合、カード会社とのデータ通信にかかるトランザクション料金も課される。

下記の表は、主な PG 会社の加入費、年間定額料金、サービス類型別の手数料(率)及

び精算周期などをまとめたものである。PG 会社によってサービスごとの手数料(率)等が異なるため、PG の利用を検討する際には、それぞれの決済手段がどのような利用者層(男女・年代・地域別)によく利用されているかをよく比較することが重要だ。

【主な PG 会社のサービス類型及び手数料(率)】

(単位：韓国ウォン)

区分	クレジット カード PG	口座振替 PG	仮想口座 PG	少額決済(通信課金) PG					商品券 PG			加入費
	手数料率 ※1)	手数料率	手数料	精算周期	有線電話(ARS)		無線電話		精算周期	取扱商品券	手数料率	
					物品	Content	物品	Content				
AEGIS ENTERPRISE (Allthegate)	BASIC 3.5%	2.5% (最低 250KRW/ 件)	400/件	M+3	BASIC 4.0%	PREMIUM 3.6%	KT 電話 10.0%	5.0%	9.0%	-	-	BASIC 30万 PREMIUM 50万
	PREMIUM 3.1%			M+1				6.5%	10.5%			
	3.1%			W+1				7.0%	11.0%			
KG Mobilians	3.5%	2.0% (最低 200KRW/ 件)	300/件	-	8.0%		6.5%	7.5%	-	図書商品券 HappyMoney 文化商品券	10.0%	20万
Allatpay	週1回 15日毎 月別精算	週1回 精算	毎日 週1回 精算	月別精算	-		6.5%	9.0%	月別 精算	HappyMoney 文化商品券 図書文化商品券	11.0%	クレ15万 口座10万 (年10万)
	3.5~4.0%	2.0%	400/件									
KG INICIS	一括精算、月1・2・4回、7日毎精算			M+3カ月 5日	11.0%		7.0%	10.0%	M+1カ月 末日	文化商品券 図書商品券	11.0%	20万 (年20万)
	3.4~3.8%	2.0% (最低 200KRW/ 件)	400/件						月1・2・4回 7日毎	TeenCash	18.0%	
									Yellow Pay	3.4%		
KCP	月4回、または毎日精算			M+3カ月	9.0%		6.5%	10.0%	-	図書商品券 HappyMoney 文化商品券	10.9%	40万 (年10万)
	登録費40万: 3.3%	2.0% (最低 250KRW/ 件)	300/件						-	ゲーム文化商品券 TeenCash Egg Money On Cash	17.9%	
登録費20万: 3.5%	3.3~3.7%			400	-	-	6.5%	8.0%	M+1カ月	文化商品券 図書商品券	11.0%	
登録費10万: 3.7%										ゲーム文化商品券	17.0%	
LG U+	毎日精算:D+6営業日 週1回:D+6営業日 月1回:M+4営業日			-	M+3カ月		M+3カ 月	翌月6日 ~ M+3カ月	M+1カ月	文化商品券 図書商品券	11.0%	20万
	3.3~3.7%	2.0% (最低 200KRW/ 件)	400	-	-	6.5%	8.0%	ゲーム文化商品券				

Source: Hana 金融研究所の資料(2012.6)及びPG各社のホームページ上のデータを元にクララオンライン作成
注: ※1)上記は「代表加盟店向けサービス」の手数料率である。「代表加盟店向けサービス」とは、PG 会社が自社の決済システムを有しない中小の EC サイト等に代って銀行やクレジットカード会社との代表加盟店契約を締結し、取



CLARA ONLINE Korea Internet Report
2014.3.26

引の承認、仕入及び精算などを代行するサービスをいう。

※その他、「エスクロー」や「契約履行保証保険」への加入を義務付ける PG 会社が多い。これは電子商取引等における消費者保護に関する法律（2005年3月31日公布）に基づくもので、ネットショッピングなどの商取引におけるアクシデント(物品の未配送、倒産などにかかる補償)に備えるためである。契約履行保証保険料は PG 会社ごとに補償限度などを基に定められている。ただし、クレジットカードによる取引、配送を必要としない取引（ゲームや音楽等のデジタルコンテンツ）は除かれる。

(4) PG サービスの利用状況

2012 年中の PG の利用件数は 11 億件、取引総額は 43.5 兆ウォンで、それぞれ前年比 5.0%ポイントと 17.7%ポイント増加した。決済手段別ではクレジットカード PG が全体の 62.7%、仮想口座 PG が 16.8%、口座振替 PG が 11.9%、少額決済(通信課金)PG が 6.6%の割合だった。

【PG サービスの利用状況】

区分	件数 (百万件)			金額 (十億ウォン)		
	2010年	2011年	2012年	2010年	2011年	2012年
クレジットカード PG※ 1)	444.1	485.8	552.6	18,791.3	22,491.8	27,293.4 (62.7%)
仮想口座 PG	77.9	92.3	95.1	4,967.6	6,576.4	7,314.4 (16.8%)
少額決済(通信課金)PG	235.7	267.2	256.9	2,140.8	2,583.9	2,861.1 (6.6%)
口座振替 PG	93.6	104.7	105.0	4,275.2	4,540.4	5,185.3 (11.9%)
その他	90.1	97.0	89.4	680.2	777.7	868.2 (2.0%)
合計	941.4	1,047.0	1,099.1	30,855.0	36,970.2	43,522.3 (100%)

Source: 韓国銀行(2013.4.19)

注：※1)T-money 等の交通カードの利用実績(2012 年中、41.9 億件、5.0 兆ウォン)は除く

4. モバイル決済サービスの動向

(1) 主なモバイル決済サービス

-7-

本レポートは、業界・企業に関する情報の提供を目的としたものであり、お客様の経営判断や購買、契約行為にあたってはお客様のご判断のもとに行っていただくようお願いいたします。本レポートは、クララオンラインが直接ご提供するという方法でのみ配布しておりますので、お問い合わせにつきましてはクララオンラインまでご連絡ください。本レポートのいかなる部分も、一切の権利は株式会社クララオンラインに帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行うことを禁止いたします。なお本レポートに掲載されている第三者の企業名や商標、ロゴマークは個々の権利所有者に帰属します。また本レポートを日本国外で配布することは禁止いたします。

韓国で現在運営が行われているモバイル決済サービスは下記の通りである。

区分		方式	内容
オフライン	近距離	NFC ※1)	ICチップ(USIM)や microSD が組み込まれたモバイルの NFC 基盤による決済
		モバイル POS ※2)	POS 化したモバイルによるカード決済
オンライン	遠距離	携帯少額決済 (Phone Bill)	通信課金(後払い)
		In-App (オフラインも有)	モバイルアプリケーション(app)を活用した決済

Source: KT 経済経営研究所「モバイル決済市場の新たな流れ」

注：※1) NFC(Near field communication)：近距離無線通信。通信エリアは数センチから 1メートル程度で、非接触通信とも呼ばれる。日本の「Suica」や「おサイフケータイ」がこれにあたる。

※2) POS(Point of Sale、販売時点情報管理)：店舗で商品を販売することに販売情報を記録し、集計結果を在庫管理やマーケティング材料として用いるためのシステム。

(2)「オフライン」モバイル決済サービスの現状

日本で一般的な NFC 方式を使ったモバイルウォレットサービス(いわゆる「おサイフケータイ」)は、専用リーダーの設置など別途インフラ構築に費用がかかる上、セキュリティに課題があるため本格的な普及にまだ時間がかかりそうだ。一方で韓国では、2012年に通信キャリアの KT が金融機関と共同で「MOCA」というモバイル決済サービスを始めている。「MOCA」は NFC 方式の他、バーコード、QR コードなど多様な決済方式が可能で、決済情報が店側に残らないためセキュリティを強化できるという。

【通信キャリア別のモバイルウォレット】

区 分	スマートウォレット	U+スマートウォレット	MOCA
サービス会社	SK Planet	LG U+	KT
リリース日	2010.6.1	2011.8.2	2012.12.5
利用者数 (2012 年末基準)	750 万人※1)	200 万人	未公開
加盟店・ブランド	約 200	約 100	約 60
決済可能な方式	NFC	NFC	MocaPay、QR コード、 バーコード、NFC

Source: ZDNet Korea 記事(2013.1.22)

注：※1) 2013 年 6 月 5 日現在、加入者数 1000 万突破(SK Planet ホームページ)

(3) 「オンライン」モバイル決済サービスの現状

オンラインでのモバイル決済サービスは、「携帯少額決済」による方式と「In-App 方式」に分けられる。さらに「In-App 方式」は、最初にモバイル端末に専用アプリをインストールした後、アプリ内で課金するケース(主にクレジットカードと連動)と実店舗での買い物時などにオフラインで課金するケース(購入者のモバイル端末に表示されたバーコードなどを店舗側が読み取って決済を行う)があるが、ここではネットショッピングにおける PG 会社のモバイル決済について概観する。

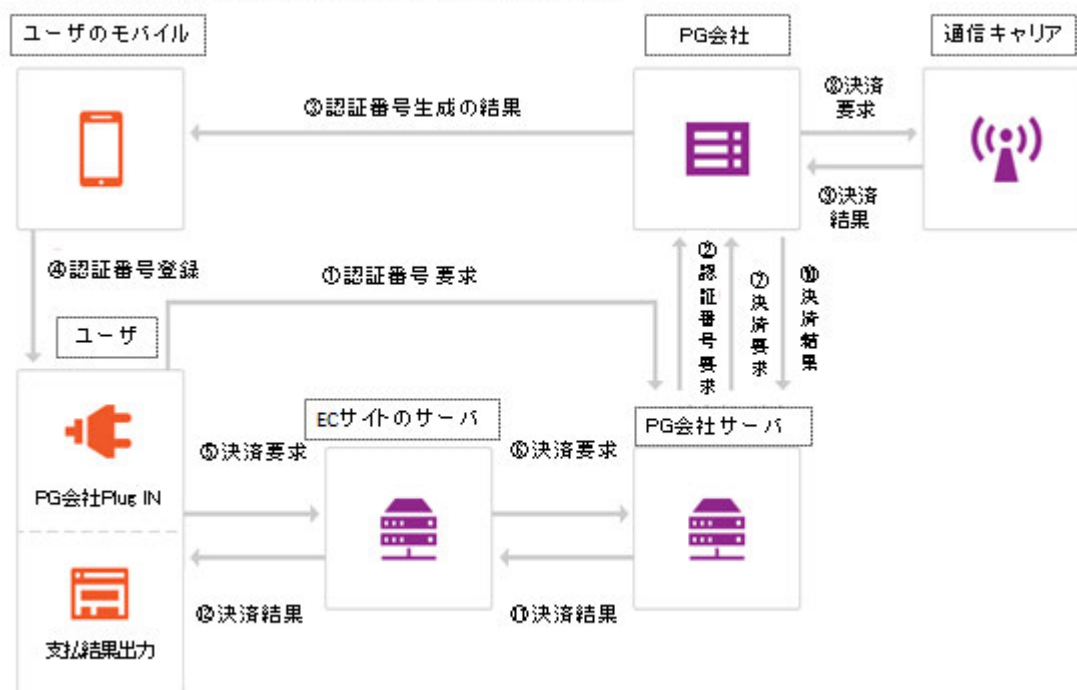
i) サービスのプロセス及び特徴

ネットショッピングサイトのアプリまたは同サイト内の決済用ユーザインターフェースを通じて取得した決済依頼を元に、PG 会社のサーバで決済手段別(クレジットカード、携帯少額決済)の認証を行う。認証が完了すると認証番号が発行され、これを以て各 PG 会社のサーバから決済を要求する。決済はネットショッピングサイト側のサーバと PG 会社のサーバの間でワントランザクションで処理される(モバイル ISP 認証、口座振替を除く)という特徴がある。



Source: www.inicis.com

【モバイル決済のプロセス(少額決済「通信課金」)】



Source: www.inicis.com

ii) モバイル決済でクレジットカードを利用する場合の注意点

2013年5月に韓国の金融委員会および金融監督院が発表した「オンライン決済セキュリティ強化総合対策」に基づき、モバイル決済においてもISP認証または公認認証書が必要となった。特に決済額が30万ウォンを超える場合は、両方の認証が必要となる。なおデバイスによっては、認証にまだ対応していないクレジットカード会社もあるので注意が必要である。クレジットカード会社別の認証方式は以下の通りである。

対象クレジットカード	決済金額	認証方式
KB、BC、Woori	30万ウォン以上	ISP暗証番号※1) + 公認認証書※2)
	30万ウォン以下	ISP暗証番号
SAMSUNG、新韓、LOTTE、HYUNDAI、Citybank、KwangJU、HanaSK、外換、Jeju、水協など	30万ウォン以上	あんしんクリック暗証番号 + 公認認証書
	30万ウォン以下	あんしんクリック暗証番号 又は公認認証書のどちらか

Source: KG Inicis のホームページ上のデータを元にクララオンラインが作成

注：※1) クレジットカード番号を入力せずカード会社が発行する仮想ISP暗証番号(ユーザによる事前登録必要)を入

CLARA ONLINE Korea Internet Report
2014.3.26

力することで決済する。

※2) 政府が指定する国家公認認証機関が発行する電子認証書。ネットバンキング、ネットショッピング、各種証明書の申請に使われる。公認認証機関及び金融機関のホームページから無料で発行を申請できる。Windows 環境かつ Internet Explorer 向けで、スマートフォンなどではユーザ向けのアプリを用意して対応しているところもある。

【クレジットカード会社の認証対応状況(モバイルデバイス別)】

区分	ISP 認証			あんしんクリック認証							
	BC	KB	Woori	SAMSU NG	新韓	LOTT E	HYUD AI	City Bank	Kwang ju	Hana SK	外換
クレジットカード会社											
iPhone	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
iPad	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
Android Phone	○	○	○	○	○	○	未定	未定	未定	○	○
GALAXY TAB	○	○	○	○	○	○	未定	未定	未定	○	○

Source: 「KG Inicis」及び「danal」のホームページ

なお、BC、KB、Woori のクレジットカードで決済する場合には、ISP 認証用のモジュール又はアプリがモバイルデバイスにインストールされていることが前提となる。一方、あんしんクリック認証を行う上記表のクレジットカードについては、決済の前にモバイル用ウィルス対策ソフトをインストールする必要がある。



【ISP 認証モジュールのインストール画面】



【あんしんクリック認証前のウィルス対策ソフトインストール画面】



(4)今後の見通し

スマートフォンやタブレットなどモバイルデバイスの普及により、モバイル決済という新たな決済の形態が登場した。オンライン取引においてプラスチックカードで決済する場合、カード番号を入力する煩雑さが存在し、現金での決済を希望する場合には口座振替のためにネットバンキングを使わなければならない。しかしモバイル決済は、個人情報保護やセキュリティに関わる認証は欠かせないものの、より簡便な方法で決済ができるため、特にネットショッピングをはじめとする e-Commerce 領域においてモバイル決済は確かなメリットを有している。今後もセキュリティ上の課題を解決しながら、ユーザ中心のモバイル決済サービスとして進化を遂げることが予想される。

- 本レポートに含まれる情報は一般的なご案内であり、包括的な内容であることを目的としておりません。また法律・条令の適用と影響は、具体的な状況によって大きく変化いたします。具体的な事業展開にあたってはクララオンラインコンサルティングサービスチームより御社の状況に特化したアドバイスをお求めになることをおすすめいたします。また本書の内容は2014年3月26日時点で編集されたものであり、その時点の法律及び情報、為替レートに基づいています。

本書はクララオンラインコンサルティングサービスチームにより作成されたものです。クララオンラインの中国、台湾、韓国、シンガポールなどアジア各国のインターネットコンサルティングサービスに関するお問い合わせは以下の連絡先までお気軽にご連絡ください。

asia@clara.ad.jp または +81(3)6704-0776